立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.11.6（金）
No.28

［校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）］

誰もが自分事です。

11月5日（木）10時。訓練防災アラートがなりました。教室では、放送に反応し、先生が子どもたちに指示を与えたと聞きました。子どもたちは驚いたけれど、指示通り動けたようです。

13時半。4年生の教室。アシナガバチが入ってきました。過剰に反応をしてしまう子がいます。先生が「大丈夫だよ。」と冷静に判断し、ハチを逃がしました。子どもたちの中には、「落ち着いて」と発する子もいます。ハチが逃げていったあとは、「自助・共助・公助」といった災害発生前、発生後にできることについての学びを深めていました。

15時。地域交流室（ランチルーム）。学校・地域・行政の方が集まりました。「学校防災体制推進座談会」が始まりました。



昨日は、危機管理につながる出来事や考えさせられる時間があった一日になりました。

今年度、本校では、学校の防災体制をさらに推進できないかと考え、担当の松尾先生を中心に、様々な取り組みと検討を行っています。昨日の座談会では、学校と地域の現状を踏まえ、今年度の取組と今後の展開について話し合いをしました。人と防災未来センターの先生の助言を仰ぎながら3回目の学びの場となりました。

第1回目の7月27日では、行政担当の方を講師に、教職員と地域の方、学校支援ボランティアの皆さんとで、マンホールトイレ、応急給水栓について研修を行いました。実践してわかったことが多くあります。





第2回目の8月27日は、学校が避難所となった際の対応について学びました。





本当に避難所になった際、スムーズに動くことができるでしょうか。

災害は、いつ起きるかはわかりません。学校は、対応の拠点となることがあります。有事の際に、保護者の皆さん、地域の皆さん、そして子どもたちが混乱少なく動けるようになることを日頃から考えておく必要があると強く感じています。他人事ではない、自分たちの地域の安全を保護者・地域の人たちと私たち教職員もが一緒になって、共にできることを今後も考え続けていこうと思います。